

分類項目	意見や質問の内容	回答
(1)災害に強い地域づくりのために 「避難行動要支援者の個別計画をつくらう」	要支援者に関する個人情報の管理はどこで責任を持つのですか。  災害時に助けを当てにして待っていた要支援者が亡くなってしまい、地方の家族から訴えられた場合など行政はどう考えているのか教えてください。	町内会、市、消防署など関係機関が情報を共有し、それぞれで責任を持ちます。  災害時では、まず、自分や家族の安全確保が優先されますので、町内会の支援者の方に法的な責任などを負わせるものではありません。避難行動要支援者の方についても、必ず支援されることを保証するものではないことを伝えています。
(2)今年の除排雪計画について	路線を除排雪しても、すぐに雪を出すので、道幅が狭くなる路線での対策を講じてほしいです。  入居者が独居老人のみの市営住宅の除雪に大変苦労しています。町内会では限界があるので、毎回とは言いませんが、溜まったときには、除雪をお願いしたいです。	その道路の場所や条件により、すぐに幅員が狭くなる路線があります。多くの場合は幹線に面する枝線の幅員が狭いために、幹線道路に除雪した雪を出しているものと地先からの雪出しによるものと認識しています。町内会なども含めた枝道の除雪方法のあり方、現地状況を再確認し、必要に応じて対応したいと考えています。  市では、一人暮らしなどで本人や協力者による除雪が困難な方には、緊急時の安全確保などを図る除雪サービス事業を行っていますので、市・介護支援課、市・地域包括支援センターにご相談ください。
(3)留萌市の介護保険について	3年に1回保険料を見直していますが、高齢者の割合が増えていくとどこまで高くなるのですか。 次回の改定で介護報酬を5%下げるとい話があります。そうなれば保険料も下がるのですか。	介護報酬の増減による影響はありますが、今後は、高齢者人口の増加に伴う介護給付費が増えることにより、保険料は上昇する見込みです。
(4)首都圏における留萌観光物産PRについて	東京などでのPRは、地元の人間としてはあまりピンとこない。外でのPRばかりではなく、来た人に対するPR活動にも、もっと力を入れてほしいと思います。	現在、市内で開催される全道、道北の会議や大会などで観光パンフレットなどの配布を実施しています。また、留萌観光協会でも特産品の売店を臨時出店しており、留萌のPRを実施しています。
(5)その他の項目について	ごみの仕分けが大切なのは理解していますが、高齢者世帯になると細かいところまでの区分けは難しいので、もう少し仕分けを少なくできないのですか。	細かい仕分けにより、資源化や処分場の延命などに繋がり、ごみ袋の料金や新しい処分場を造る際の市民負担にも影響します。平成27年度も引き続き、皆様のご協力をお願いします。
	温水プール「ぶるも」の一部再開は、利用者からは大変喜ばれています。今年度は短期間の再開でしたが、来年度のプールの再開にあたり、利用者からアンケート調査するなど意見を取り入れてほしいです。	平成27年度も26年度と同様に小学校のプール授業で使用します。 また、今年度、プール授業として使用しない夏休みの一般開放時期に、アンケートを実施しましたが、回答件数が少数であったため、来年度は実施方法を改善して実施する予定です。
	地震がきて、留萌市の庁舎が潰れてしまったら防災の拠点がなくなってしまう。 耐震診断、建替計画など検討すべきではないでしょうか。  市立病院の小児科は予約していなければ受診できないと聞きましたが、実際はどうなのですか。急病のときにかかれないのではと、お母さんたちが心配しています。	市の庁舎の建替計画はありませんが、市の庁舎全体が老朽化してきており、特に本庁舎については、建設後50年以上経過していることから、今後、対応を検討していきます。 なお、災害などにより市の庁舎が使用できない場合、市立図書館に災害対策本部を設置することとなっています。  現在、小児科で完全予約となっているのは、ワクチン外来、心臓外来、内分泌外来などの一般診療以外の外来となっています。一般診療については、予約外の受診も以前と変わりなく受けています。

未来に向け新しい流れ、輝き続ける留萌づくりを進めるために…

平成26年度

## 市政懇談会の報告

市は、「輝く留萌挑戦物語」をテーマに、平成26年度の市政懇談会を、平成26年11月29日(土)留萌産業会館2階大ホールにおいて、町内会役員など市民71人の参加をいただき開催しました。  
市からの報告と皆さんからいただいた意見などを紹介します。



### 市政懇談会のテーマと市からの報告

市政懇談会は、市民の皆さんと新たな未来の留萌づくりに取り組み、子どもたちが輝きを持ち、お年寄りがいきがいを持って暮らすことができる、市民の笑顔が絶えない「誇りと満足をめざすみなとまち留萌」を実現するため、多くの皆さんから意見を聴き、また、情報の共有を進めることを目的に、毎年開催しています。

(1)災害に強い地域づくりのために  
「避難行動要支援者の個別計画をつくらう」  
(総務部)

東日本大震災の教訓から、災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障がい者など(避難行動要支援者)の対応策について、現在、市が進めている「避難行動要支援者」名簿の整備、「個別計画」の作成、今後の事業の進め方および今後の取り組みなどについて報告しました。

(2)今年の除排雪計画について  
(都市環境部)

近年の降雪量や運搬排雪量の推移、除雪出動基準や作業時間帯などの除雪計画、ダンプロトラックや融雪機の無料貸し出し制度の利用件数、市が平成26年度に導入した大型ロータリー除雪車などについて報告しました。

(3)留萌市の介護保険について  
(市民健康部)

近年の高齢者人口と高齢化率、要支援・要介護認定者数の推移、要支援・要介護認定区分の目安、介護保険サービスの利用の流れ、市内の高齢者向け施設の種類の説明、介護費用と保険料の推移、平成27年度から始まる次期(第6期)介護保険事業計画の策定などについて報告しました。

(4)首都圏における留萌観光物産PRについて  
(地域振興部)

日本一の生産を誇る「数の子」を東京でPRするための留萌フェアなどの実施、留萌産品の販路拡大の取り組みとして道内外で開催された物産展などへの参加、海外販路拡大を目指し、サハリン州ユジノサハリンスク市で開催された道北物産展への参加、首都圏のレストランなどで留萌食材が使われていることなどについて報告しました。

多くの意見などをいただいたグループ別意見交換

市からの報告に続き、参加者は8つの班に分かれ、各席に配置した市の職員とグループ別意見交換を行いました。主な意見や質問に対する回答については左ページをご覧ください。また、市ホームページ(<http://www.e-rumoi.jp/>)に、皆さんから寄せられた意見や質問を掲載しています。

市では、今後も皆さんとの対話を大切に、皆さんからいただいた貴重な意見や要望を市政の参考にし、未来に向け新しい流れ、輝き続ける留萌づくりを進めていきます。

